

2025年度 東京都立大学大学院

人文科学研究科 入学試験

(2月入試)

教室名(分野名)	哲学 教室
課程	博士 前期課程
試験区分	☒ 一般学生 ☐ 外国人特別学生(留学生)
試験科目名	英語
出題の意図	哲学の専門的研究を遂行するために必要な外国語の読解能力があるか、確認する。

※公開している入試問題について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

東京都立大学大学院人文科学研究科文化基礎論専攻【哲学教室（哲学分野）】
2025 年度入学試験問題〔2 月募集〕（博士前期課程）

※一問につき答案用紙一枚を使用すること。

英 語

1. 全文を和訳しなさい。

For instance, if Jupiter be he who is adored and revered, and if his history represents him amorously inclined, and permitting his desires of this kind to wander in the loosest manner, 'tis certain that his worshippers, believing this history to be literally and strictly true, must of course be taught a greater love of amorous and wanton acts. If there be a religion which teaches the adoration and love of a God whose character it is to be captious and of high resentment, subject to wrath and anger, furious, revengeful, and revenging himself, when offended, on others than those who gave the offence; and if there be added to the character of this God a fraudulent disposition, encouraging deceit and treachery amongst men, favourable to a few, though for slight causes, and cruel to the rest, 'tis evident that such a religion as this being strongly enforced must of necessity raise even an approbation and respect towards the vices of this kind, and breed a suitable disposition, a capricious, partial, revengeful, and deceitful temper. For even irregularities and enormities of a heinous kind must in many cases appear illustrious to one who considers them in a being admired and contemplated with the highest honour and veneration.

(Anthony Ashley Cooper, the Third Earl of Shaftesbury, *Characteristics of Men, Manners, Opinions, Times*)

(次の頁に続く)

2. 全文を和訳しなさい。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載
することができません。出典を参考にする
か、東京都立大学南大沢キャンパス人文社
会学部教務係の窓口で閲覧してください。

(Amie Thomasson, *Fiction and Metaphysics*, 1999.)

2025年度 東京都立大学大学院 人文科学研究科 入学試験 （2月入試）	
教室名（分野名）	哲学 教室
課程	博士 前期課程
試験区分	☒ 一般学生 ☐ 外国人特別学生（留学生）
試験科目名	ドイツ語
出題の意図	哲学の専門的研究を遂行するために必要な外国語の読解能力があるか、確認する。

※公開している入試問題について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

ドイツ語

1. 全文を和訳しなさい。

Der *Wille* als Ding an sich ist von seiner Erscheinung gänzlich verschieden und völlig frei von allen Formen derselben, in welche er eben erst eingeht, indem er erscheint, die daher nur seine *Objektivität* betreffen, ihm selbst fremd sind. Schon die allgemeinste Form aller Vorstellung, die des Objekts für ein Subjekt, trifft ihn nicht; noch weniger die dieser untergeordneten, welche insgesamt ihren gemeinschaftlichen Ausdruck im Satz vom Grunde haben, wohin bekanntlich auch Zeit und Raum gehören, und folglich auch die durch diese allein bestehende und möglich gewordene Vielheit. In dieser letztern Hinsicht werde ich mit einem aus der alten eigentlichen Scholastik entlehnten Ausdruck Zeit und Raum das principium individuationis [Prinzip der Individuation, den Existenzgrund der Einzelwesen] nennen, welches ich ein für allemal zu merken bitte.

(A. Schopenhauer, *Die Welt als Wille und Vorstellung*)

2. 全文を和訳しなさい。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載
することができません。出典を参考にする
か、東京都立大学南大沢キャンパス人文社
会学部教務係の窓口で閲覧してください。

(Johannes Hessen, *Platonismus und Prophetismus*)

2025年度 東京都立大学大学院

人文科学研究科 入学試験

(2月入試)

教室名（分野名）	哲学 教室
課程	博士 前期課程
試験区分	☒ 一般学生 ☐ 外国人特別学生（留学生）
試験科目名	基礎知識
出題の意図	哲学の専門的研究を遂行するために求められる一定の哲学史的知識をもつか、確認する。（基礎知識）

※公開している入試問題について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

東京都立大学大学院人文科学研究科文化基礎論専攻【哲学教室（哲学分野）】
2025 年度入学試験問題〔2 月募集〕（博士前期課程）

※一問につき答案用紙一枚を使用すること。

基礎知識

1. 「知識はひとに宿る。知識は何かの知識であると同時に、必ずまた誰かの知識であって、個体であれ集合体であれ、一定の人格的主体への帰属関係を顧みることなしにその知識について論議することはできない」というある哲学者の言葉がある。この知識観についてどう考えるか。自身の意見を述べよ。（なお、特定の哲学者の見解を参考にしてもよい。）

以下の 2 から 6 のうち、三題を選んで答えなさい。

2. プラトンの詩人追放論について説明しなさい。
3. ストア派の「哲学の三部門」について説明しなさい。
4. 機会原因論について説明しなさい。
5. カントにおける transzendental と transzendent の違いを説明せよ。
6. 以下の用語のうちから三つを選び、簡潔に説明しなさい。
(a) 仮説演繹法 (b) 固有名の歴史的説明説 (c) ゲディア問題
(d) 『論理哲学論考』の要素命題 (e) 意味の使用説